



市政へのご意見、ご要望をお寄せください。

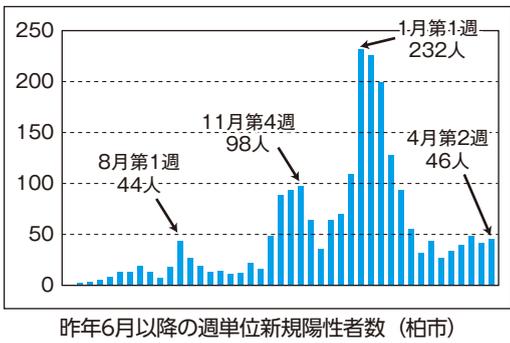
発行：日本共産党柏市議会議員団 柏市増尾台1-2-16 ☎7176-3711 FAX.7176-3716

市長に12回目の要望



第4波の感染拡大を抑え、市民のいのち・暮らし・営業を守るための具体的な対応が柏市に求められています。

政府も高齢者施設・障害者施設の職員に対するPCR検査を始めましたが、当面1回のみでありにも少なすぎます。日本共産党柏市議団は市長に対し、「国の責任で週1回の検査を行うように求めるとともに、実現するまで柏市の責任で行うこと」を議会質問で求め、さらに新型コロナ対策の12回目の申し入れを行いました。申し入れでは、変異ウイルスの検査の実施、第3弾の中小企業支援の早期実施、市立病院・学校・保育園の手洗いの自動水栓化、生活困窮者への生理用品の支給などを求めています。



「第4波」封じ込めに力つくせ

①PCR検査の拡大 4億8千万円

医療機関や高齢者・福祉施設での新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、職員と利用者の定期的なPCR検査の費用を支援する。

②上下水道基本料金の減額 6億7千万円

2カ月以上に及ぶ緊急事態宣言の下での市民と市内事業者の生活・経営を支援するため、2カ月分の上下水道基本料金を減額する。

③国民健康保険料の軽減 1億6千万円

新型コロナウイルス感染拡大の影響で苦しむ自営業者、非正規労働者が多く含まれる国民健康保険加入世帯の子どもの均等割を5割軽減することで負担を軽減するとともに子育てを応援する。

④学校給食費の軽減 9千万円

第3子以降の学校給食費を全額免除し、多子世帯の子育てを支援する。

コロナ対策の強化、市民負担軽減に14億円

超党派で提案

予算組み替え

3月市議会

清風・公明が反対、可決へあと二歩

3月市議会では、超党派での市予算の組み替え提案が行われました。内容は①医療機関、高齢者・障害者施設で定期的なPCR検査を行う②すべての世帯・事業者の上下水道基本料金の2カ月分免除③国民健康保険料の子どもの保険料を半額にし、学校給食費は3人目から免除——というもので、市独自のコロナ対策強化を求めました。共産党など13人の議員が提出者・賛成者に名を連ねました。採決では賛成17・反対18と、僅差で否決されましたが、市当局に大きな衝撃を与えました。反対したのは柏清風（自民系）の11人と公明党の7人です。



- 日本共産党
 - 日下みや子
 - 平野 光一
 - 武藤美津江
 - 矢澤 英雄
 - 渡部 和子
- みらい民主
 - 岡田 智佳
 - 上橋 泉
 - 鈴木 清丞
 - 浜田智香子
- 柏愛倶楽部
 - 佐藤 浩
 - 末永 康文
 - 山下 洋輔
- 市民サイド・ネット
 - 林 紗絵子
 - 松本 寛道
- 無所属
 - 内田 博紀
 - 大橋 昌信
 - 北村 和之

- 柏清風
 - 阿比留義顯
 - 石井 昭一
 - 後藤浩一郎
 - 坂巻 重男
 - 桜田慎太郎
 - 円谷 憲人
 - 日暮 栄治
 - 福元 愛
 - 古川 隆史
 - 村越 誠一
 - 山田 一
- 公明党
 - 小川百合子
 - 小松 幸子
 - 田中 晋
 - 塚本竜太郎
 - 中島 俊
 - 橋口 幸生
 - 林 伸司

← 賛成した議員
反対した議員 →

福祉タクシーの迎車料金 300円→30円に軽減

昨年のタクシー運賃改定で、福祉タクシーでも新たに300円の迎車料金の支払いが求められるようになりました。往復で600円もの負担増です。「これでは福祉タクシーの意義がなくなる」と、共産党は議会で取り上げ検討を約束させてきました。このほど「初乗り料金と迎車料金で720円まで助成の対象にする」と回答。自己負担は30円になりました。

「自校方式を守りひろげる市民の会」発足

署名運動を開始

やめないで安全・おいしい自校給食!



「会」が作ったチラシ(裏は署名用紙)



3月には「自校方式を守りひろげる柏市民の会」が結成され、2つの要求(①自校方式の学校給食を変えないで②沼南地区の学校も自校方式)で署名も始まっています。小中学校の入学式が行われた4月8日と9日、会はほとんどの学校の門前で署名用紙付きチラシを保護者に手渡し活動への協力を呼びかけました。PTA役員や保護者から「知らなかった」「絶対自校給食がいい」「署名を集めたい」などの声も届いています。

「知らなかった」「自校方式が絶対について」。PTA役員も保護者も共感

市議会では11人が質問通告
柏市教委が打ち出した学校給食のセンター化構想に反対の声が急速に広がっています。3月市議会では、質問に立った議員の半数、11人が学校給食問題を通告しました。日本共産党からは3人が連続して取り上げ、「構想案」の問題点を一つひとつ明らかにし、センター化方針の撤回を求めました。自校方式の各学校には栄養士がいて、豊かなメニューで出来たての安心・安全な給食が提供され、「食についての教育」も充実しています。「構想案」はこの自校方式を不当に評価し、強引にセンター化の結論を導き出しています。

まず現場の声を聴くべき

市教委が昨年末に募集したパブリックコメントには82人から279件の意見が寄せられました。ほとんどが自校給食の継続を求める真剣な内容でしたが、市教委の回答は同じ文章の繰り返し、いわゆる「コピーペ」を多用したさわめて不誠実なものです。そもそも市教委は、検討過程で児童・生徒、保護者、教職員、栄養士など当事者の意見を聴いていません。「構想案」を白紙に戻し、まず現場の声を聴くべきです。